

●●● | 第10回 12月16日の講義内容

- § 3-6. 調査の実施
  - 実施方法
  - 実施手段
  - 実査にあたって
  - エディッティング
  - データファイルの作成とクリーニング

1

12/16/09

●●● | § 3-6. 調査の実施

- 調査の実施方法
  - 自計式: 調査対象者自身で記入
    - 例) 国勢調査
    - Good: (人に知られたくないような) 微妙な問題の調査がやりやすい。
    - Bad: 用語解釈の不一致が生じやすい
  - 他計式: 調査員が記入
    - 例) 世論調査
    - Good: 用語解釈の一致・統一が容易
    - Bad: 微妙な問題の調査が難しい(調査員に影響されやすい)

2

12/16/09

●●● | § 3-6. 調査の実施(2)

- 実施手段
  - 人: 訪問
    - 個別面接 … 調査票調査の基本(自計/他計)
    - 留置
  - 郵送 … 回収率低い(3割程度)
  - 電話 … 対象が特定できない  
回答の信頼度が低い
  - インターネット … HTML形式で作成  
スクリーニングは容易であるが  
対象者は特定できない

3

12/16/09

●●● | 実査について

- 準備
  - 調査マニュアルと調査員へのインストラクション
  - 依頼状の発送
  - 調査キットの用意: 地図、調査票、謝礼品等
- 実査本番
  - 面接の心得: 良好な人間関係の構築
  - 回収時の点検

4

12/16/09

●●● | エディッティング: editing

- 有効票と無効票の区別
  - 配布
    - 回収
      - 全回答
        - 完備 → 有効(狭義)
        - 不備 → 有効(広義)
      - 一部回答
      - 無回答
    - 無回収 → 無効

5

12/16/09

●●● | エディッティング(2)

- 回答エラーの扱い
  - 単純回答エラー: 単なる回答間違い
  - 論理回答エラー: 論理的に矛盾する回答



属性や他の回答等の情報を用いて合理的に推測

6

12/16/09

## ● ● ● データファイルの作成とクリーニング

- コーディング
  - 回答のコード化: 分析ソフトに合うように
  - コード対応表(コードブック)を作成のこと
- データ・クリーニング
  - 単純集計チェック
  - クロスチェック(論理チェック)